

# 再 評 価 調 査 書

整理番号	1
担当部課名	土木部道路建設課

## 5 評価内容

1 事業概要			
(1) 事業名	地方道路整備事業	(2) 名称	一般国道118号那珂大宮バイパス
(3) 事業主体	茨城県	(4) 箇所名	那珂市飯田地内～常陸大宮市下村田地内
(5) 採択年度	平成8年度	(6) 完成予定年度	令和12年度
(7) 事業目的	・ 県北地域における南北方向の主要幹線道路の向上を図る。 ・ 那珂市及び常陸大宮市の交通混雑緩和により円滑な交通の確保を図る。 ・ 常磐自動車道 那珂 IC から奥久慈地域へのアクセス向上を図る。		
(8) 事業内容	・ 道路延長 L=8,300m ・ 計画幅員 W=28.0m (4車線) ・ 用地買収、道路改良・舗装、橋梁 (玉川橋梁、JR跨線橋 外1橋)		

## 2 再評価の理由

(1) 再評価の理由	再々々評価 (事業費及び完成年度の変更)	(2) 当初完成予定	令和6年度
(3) 未着工・事業が長期間要している理由	那珂大宮バイパスは、平成8年度から平成26年度までの19か年計画で事業を進めていたが、事業規模が大きく、また、現道拡幅区間の沿線に営業店舗があり用地交渉が難航したため期間を要している。		
(4) 前回指摘事項に対する対応状況 (再々々評価の場合)	委員会の意見	対応状況	
	継続することが妥当である。	指摘を踏まえ、優先区間の残り約1.5km区間について、整備を進め、令和4年11月30日に供用することとなった。引き続き、南側の約3.6km区間の整備を進めていく。	

## 3 事業計画の変更

(1) 完成年度の変更	令和6年度 (2024年度) → 令和12年度 (2030年度) 6年延長
	【理由】 現道拡幅区間の沿線に営業店舗があり用地交渉が難航し期間を要したことから、完成年度を6年延長する。
(2) 事業内容の変更	【理由】
(3) 事業費の変更	15,000百万円 → 19,000百万円 4,000百万円増
	【理由】 地盤調査の結果を踏まえ、地盤改良工事費が増加することや埋蔵文化財発掘調査を追加することによる。

## 4 進捗状況と今後の見通し

(1) 事業進捗状況	全体	前年度	前年度まで	進捗率
事業量(m)	8,300	0	3,200	38.6%
事業費	工事費	270	10,146	79.5%
	用地買収補償費	0	4,041	64.8%
	計(百万円)	270	14,187	74.7%
(2) 関連事業の進捗状況	—			
(3) 今後の見通し	工事	用地等		
	まとまった用地が確保できた箇所から順次、工事を実施する。	残り約3.6kmの用地取得に努めていく。		

(1) 事業の必要性	本路線は県北地域を縦断する重要な幹線道路であり、特に朝夕や行楽シーズンには渋滞が激しく、県北地域の観光振興にマイナス要因ともなっている。このため地域の振興と交通安全、並びに那珂ICへのアクセス機能の強化を図る上で事業の必要性は高い。					
	社会情勢等の変化に関する指標1	計画時の状況	現時点での状況	社会情勢等の変化に関する指標2	計画時の状況	現時点での状況
	国道118号24時間交通量(那珂市瓜連)	13,904台/日(H9セブス)	14,563台/日(H27セブス)	—	—	—
(2) 事業の有効性	本事業の実施により、那珂市の現道から常陸大宮市の現道区間(約8km)の通過時間が約2分短縮されるとともに、現道の交通量(R22)も約8割減少することが予想されることから、本事業は利便性の向上等に有効であると考えられる。					
	効果予測に関する指標1	事業なし	事業あり	効果予測に関する指標2	事業なし	事業あり
	那珂市飯田～常陸大宮市下村田(約8.3km)の通過時間(R22)	13分	11分	—	—	—
	効果算定要因に関する指標1	事業なし	事業あり	効果算定要因に関する指標2	事業なし	事業あり
	計画道路将来交通量(R22)	—	22,400台/日	現道将来交通量(R22)	13,300台/日	1,900台/日
(3) 事業の効率性	ア) 主な効果 (B) ① 当該路線の整備により、那珂市飯田から常陸大宮市下村田までの約8.3km区間において、走行時間の短縮(約25,600百万円)、走行経費の減少(約4,000百万円)、交通事故の減少(約820百万円)が図られる。(合計 約30,420百万円) ② 那珂市及び常陸大宮市市街地の交通混雑が緩和され、那珂IC、県北方面へのアクセスが改善される。 ③ JR水郡線、常陸大宮駅、静駅、瓜連駅へのアクセス向上が図られる。 ④ 瓜連小学校、上野小学校の通学路に指定されている片側・狭小歩道区間の拡幅改善により、歩行者・自転車の安全性向上が図られる。  イ) 主な費用 (C) ① 事業費 24,260百万円 ② 維持管理費 630百万円 計 24,890百万円  主な効果のうち貨幣化が可能なア、イについて事業の効率性を分析した結果は以下のとおりである。 参考となる指標 B/C= 1.2					
(4) 地元の意向	国道118号改修期成会(会長:那珂市長、関係市町村:水戸市、常陸大宮市、大子町)から、地域振興の促進と奥久慈地域へのアクセス向上のため、早期完成の強い要請がある。					
(5) コスト縮減や代替案立案の可能性	土工における土量の過不足について、近傍で実施している他事業と工事間流用を調整することにより、コスト縮減を図る。					

## 6 対応方針

市街地の交通渋滞の緩和や常磐道那珂IC等へのアクセス機能を強化するため、事業の進捗を図る。

## 7 再評価委員会の意見

継続することが妥当である。

## 8 委員会の意見を踏まえた対応

委員会の指摘を踏まえ、現計画に沿って早期完成を目指し、事業を進める。



